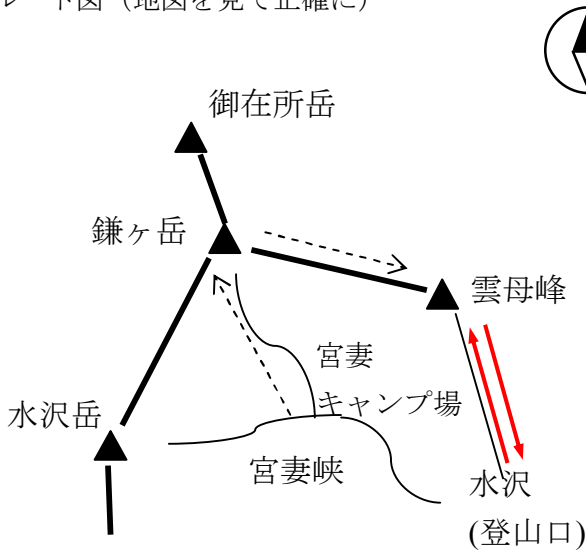


5 月度 <small>例会</small> 山行報告書 <small>個人</small>		報告者	杉本 孝	参加 メンバー	CL:津田 廣一 杉本 孝 部外者 10名 (津田さん友人達)
山 域	鈴鹿山域	報告日	06/10		
山 名	鎌ヶ岳～雲母峰	山行日	09 年 05 月 16 日(土)		
山行目的	新緑を楽しむ、日帰り登山		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙:集会
担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図 :

05/16 曇り/雨
05:30 豊橋発
06:30 刈谷オアシス 休憩 & 津田さんと合流
08:15 志雲館着(津田さん友人の別荘) & 仲間と合流
08:50 水沢登山口着
09:05 登山口発
09:40 中間点 一本
10:15 一本
10:45 雲母峰Ⅱ着 一本
11:10 三角点
11:16 雲母峰Ⅱ
12:15 水沢登山口着(全員合流するまで待つ)
13:30 志雲館着

〈山行報告〉 AM6:30 刈谷オアシスで待ち合わせし、津田さん達と合流。空を心配しながら、伊勢湾岸道路を走る。朝も早いせいか、道路は割かし空いている。長島を過ぎた辺りから、案の定パラパラと降り出して来た。AM8:15 頃に津田さんの先輩の別荘に到着。先に到着した者、後から来た者達と、雑談を交わしながら、雲母峰登山口まで車で行く。当初予定していた、鎌ヶ岳～雲母峰の縦走を雨の為、全員水沢側から登る事にして、鎌ヶ岳に縦走するかは、その都度判断を煽る事にした。AM8:45 雲母峰登山口に到着、準備をして AM9:05 に出発。12名という大所帯で、内子供が1人いる為、2パーティーに分かれて登る事にした。子供がいる班をA、津田班をBパーティーとする。登山道は中間点辺りまでは、岩が無く土も柔らかいし、登り易い。雨も本降りになってきたので、ここでカッパを着て再出発。Aパーティーは、津田さんの先輩に任せ、我がBパーティー6名は先に行かさせて貰う事にする。AM10:15 Ⅲ峰手前で1本とる。ここで、カッパに蛭がついているのに気づき、すぐさま振り落とす。他の人達もどうやら蛭に悩まされていそうだ。津田さんが「雨だし、この時期は多いよ」と、さり気無く言っていたが、たいした大きさではないが、女性陣も気持ち悪がっていた。AM10:45 に雲母Ⅱ峰(875m)に到達し、Aパーティーを待つ事にし、大休止をとる。晴れていたなら、四日市の町並みや、太平洋も見れるはずだったが、雲と霧で眼下は真っ白。何ともつまらない景色だ。このまま鎌ヶ岳に向かっても面白くないので、下山する事に。暫くしてもAパーティーが来ない為、ここからちょっと行った所に三角点があるのだが、我が班の内3人が

「ここでいい。」と言うので先に下山して貰い、残り3人で三角点へ。10分足らずで三角点に着き、タッチしてすぐ引き返す。雲母Ⅱ峰に戻ると、Aパーティーが迎らっていた。彼らにも大休止してもらい、先の3人を追う事にした。おおよそ中間点まで降った辺りで、3人に追いつく。三角点から降り1時間5分で登山口に到着、Aパーティーの帰りを待つ事に。50分遅れで、Aパーティーも無事下山。津田さん先輩の別荘に戻り、一息入れて、温泉に向かったのがであった。

〈リーダー所見〉

あいにくの天候・山慣れない人も混じっての登山で、無理をしない・させない考えに立ち、エスケープルートを考えつつの行動となった。結果的には雲母峰往復だけとなり、杉本君には物足りなかったのでは・・・?と、思ったが、安全登山に徹した登山で、それなりに楽しめ、良かったと思っている。志雲館オーナーの杉元先輩からもデンソー山岳部、いつでも使用可のコメントも頂きました。



雲母Ⅱ峰にて

確認
(リーダー)

津田

09.5.29

作成
(報告者)

杉本
09/05/29